

放課後等デイサービス事業者 自己評価 検討結果 (平成29年度)

事業所名：わんぱくクラブ駒沢

検討日時：2018年3月22日

	工夫している点	課題	改善目標
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 室内は、車椅子が通れるバリアフリーになっている。 小さい部屋を、遊ぶ場所・休憩する場所など使い分けし、過ごし方を状況に応じて変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関付近や廊下が狭い。 事務室に子どもが入り易い構造になっている。 法的な人員配置は満たしているが、子どもの支援として人手が足りないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 物的環境は、現時点では変更が難しい。環境の中で、人の動きを考え、より良い支援を考える。 事務室の入り口には、扉など仕切りを設けることを検討する。 有料媒体での人員募集、近隣大学へのボランティア呼び掛けなどを積極的に行う。
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> 月の目標に基づき活動を行い、週毎のまとめ、月終了後のまとめを行い、PDCAのサイクルを回している。 保育後に、当日の振り返りと個人記録の記入時間を1時間設け、スタッフ全体で当日の保育を総括したり、課題解決の検討を行ったりしている。 上記の記録は、1ヶ月毎にまとめた上で、必要な支援を検討している。 年5回、事業所内で研修会を行っている。事例検討と、活動の目的について話し合う機会を持っている。 外部研修を通じて、学べるよう、法人内制度を活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 常勤職員の会議で抽出された課題を、非常勤職員も含めた打ち合わせで口頭で共有しているが、月のまとめ等の資料まで共有できていない。 記録のまとめや研修会は、非常勤職員の参加率が低いことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 月のまとめを配付し、全員で読み合わせるなどして、内容を共有するようになる。 研修会等の開催を保育後に設定し、参加し易くする。
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> 行事に向けて計画を立て、職員全体で役割分担をして進行している。 常勤職員で、保育のリーディング担当者を毎月に変えて回している。 伝承遊び、ルール遊び、歌遊びなどを始め、新しいものを取り入れ、集団活動のバリエーションを増やしている。 保育後の会議を、活動報告だけに留まらず、支援の方向性や課題を検討する場になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントは検討されているが、導入に至っていない。 月1回のケース検討では、毎月全員分の検証をできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントツールを用いてアセスメントを実施できるよう、計画していく。 18年度に、個別の言語指導を開始する。 保育後の会議で、ケース検討を行うことを視野に入れる。
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> きょうだい児を行事に招待している。 エリア自立支援協議会に定期的に参加し、他機関とつながったり、地域で児童分野にも注目できるような話題提供に努めている。 保護者との懇親会を年2～3回行っている。 保護者会を毎月開催し、保育報告と共に、活動の意義を伝える場、保護者同士の交流の場として活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校機関との連携関係を構築したい。 法人外の児童発達支援、幼稚園などと連携した実績がない。 卒業後の引継ぎの実績がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回程度または、子ども1人につき年1回以上、担当教員と話をする機会を作っていく。 障がいのない子どもと一緒にできる活動を検討していく。 切れ目のない支援を実行していくため、学齢期前後の関係機関と連絡を取り、子どもの様子について共有できる仕組み作りを進める。
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が送り迎えをする時に、話す機会を設けている。 苦情内容の確認は即日に行い、職員間で共有している。 施設内の会報で、保育予定と共に、保育内容・活動報告をしている。 ハロウィンでは、地域の町会の協力を仰ぎ、交流を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営規定は保護者に配布されているが、細かい説明までは至っていない。 会報の発行が不定期になりがち。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会で運営規定の説明を行う。 会報の発行日を決め、記事の管理をすることで、定期的に発行していく。
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> 服薬の預かりをしている。 災害時に備え、発電機や火災備品(食料・簡易トイレ)を常備している。 施設内で、年間を通して災害訓練を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全員分の薬を管理できていない。 避難訓練の実施とまとめが不十分。 アレルギーの指示書は預かっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 改めて周知し、3日分預かるようにする。 計画を見直し、年間でスケジュールを組む。報告書を整備する。 食物アレルギーの子どもについて、指示書を預かるようにする。